

「想像できないくらいの様々な経験」「日米の違いを実感」

人文学部人文社会科学科 2 年 大谷美香

海外は 3 度目、アメリカに来たのはこれが初めて。最初は慣れないことばかりでした。今まで当たり前に出ていたことができないということがこんなにも大変なことなのかと痛感しました。



一番苦労したのはやはりコミュニケーション。英語の授業で習ってきたはずなのに、いざ話すとなると簡単な表現がすぐに思い浮かばなかったりすることがよくありました。

でも、助けてくれる人は誰もいません。なんとか自力で解決しなくてはなりません。最初は 1 つのことを分かってもらうのにかなり時間がかかりました。単語は合っているのに、発音の違うせいで理解してもらえないことも多かったです。今でもまだまだスラスラいかないことが多いですが、以前よりはだいぶ上達したと思います。



文法の間違いを恐れるあまり自信のある単語、文法だけを使っていました。それでは、上達しません。今では、友達がどんな小さな間違いも指摘してくれるので、間違いを恐れずどんどん自分の思ったことを言葉にして話すようにしています。

そのせいか、話すことにあまり抵抗を感じなくなりました。いまだにたくさん間違いますが、そのたびに新しい表現を吸収しようという気持ちで毎日過ごしています。

前期の授業は、英語力がまだまだ低かったので、カウンセラーの先生と相談した結果、英語を 3 教科、自分の専攻である社会学 1 つ合計 4 つを取りました。英語の授業といっても日本で受けている授業とは全く違います。当然全部英語なので、たった 1 つの単語の意味が分からないだけで、その授業の全体像がつかめなくなってしまう。そのため、分からないことがあるたびに質問して課題の内容を確認することも習慣になりました。

一番心配していたのは社会学でした。なぜなら、唯一アメリカの学生たちと全く同じア

カデミック（専門）の授業だったからです。友達の助けもあり、無事単位を取ることができました。

授業は 7 つの小テストと 3 つのテストから構成されており、テストの前は特にたくさん勉強しました。友達と勉強することでわからない部分もクリアになり、不安を取り除いてテストに臨むことができました。

授業を通して、日米の違いも知ることができました。教授が一方的に講義をするのが日本では大半ですが、この授業は教授が話した内容に対し学生が積極的に自分の意見を述べ、意見交換をしながら授業を進めていました。これにより、理解度を図ることができるし、教授との距離も近く感じることができるのでとても良いことだと思います。



Spring semester では、アカデミックのクラスを 2 つに増やすつもりなので、これまで以上に勉強しなければなりません。きっと大変な時もあると思いますが、周りの友達、先生方の力を借りながら乗り越えたいです。

早いもので留学生活も半分が過ぎてしまいました。これまでの 4 か月間、日本にいた時では想像できないくらいの様々な経験をすることができました。残りの 4 か月が終わってしまうと思うと寂しいです。このような機会を与えていただいたことに感謝し、残りをこれまで以上に充実させられるように、1 日 1 日を大切に過ごしていきたいです。

(終)